

スキー教室 作文紹介④

「 スキー教室で学んだこと 」

D組

私は、スキー移動教室で大切にすべきことを 2 つ学びました。

1 つ目は、友達と協力することの大切さです。スキー教室では友達と協力する場面がいくつもありました。例えば、自分の係や班員の係の仕事があるときに、今その係がすべきことを他の人が声をかけ協力することで自分の係をしっかりと最後まで行うことができました。また、スキー実習中でも協力することがありました。自分が上手く滑れなかったときや友達が上手く滑れていなかったときにアドバイスをしあうことで、皆で協力してスキーの技術を上げることができました。

2 つ目は、自分から挑戦してみるものの大切さです。スキー教室の前は楽しみもあったけれど、一回もやったことのないスキーをする怖さの方が大きかったので、「行きたくない」や「やりたくない」という気持ちがありました。最初は小さい坂のようなところから基礎を習っていきまし、その時にもやったことがないから怖いという気持ちもあったけれど、挑戦してみないと一生できないかもしれないと思い、滑ることができました。小さい坂の次はリフトに乗って山の上から勢いに乗って滑る時にも怖さはあったけれど、一日目に挑戦してみて上手くできたから、次もやってみればできるようになると信じて挑戦することができました。

私は今回のスキー移動教室でこの 2 つの他にも多くのことを学ぶことができました。でもこの 2 つは自分の気持ちを大きく変えることができる学びとなりました。これから先にも困難が沢山あるかもしれないけれど、周りの友達と協力して、挑戦し続けられるようになりたいと思えるスキー移動教室になりました。



「 スキー教室の思い出 」

D組

僕は、スキー教室で楽しかった思い出が 3 つあります。

1 つ目は、スキー実習についてです。僕はスキーをしたことがありませんでした。スキーはどうするのかもどう止まるのかもわかりませんでした。1 日目のスキー実習はとても緊張しました、最初のスキー板を履くこと、スキー板を履いて周りを歩くこと、坂を横で歩いてのぼることさえ最初はできませんでした。1 時間ぐらいしたらリフトに乗りました。最初は簡単なコースを滑ると言われましたが、8 の字で滑ること、止まることなど安全に滑ることができるのかなど、不安がありました。いざ滑ってみるも滑れるけど、8 の字で止まることなどが難しかったことがたくさんありました。2 日目、3 日目になると滑るコツや、止まるコツ、8 の字にするコツなどがだんだんとわかり安全に滑ることができました。

2 つ目は、レク係の仕事についてです。レク係の仕事は大広間のレクとバスレクだけで一見簡単だと思うかもしれませんが、そうではありませんでした。大広間のレクで何をやるのかも最初から決まっていたわけ



ではありません。大広間のレクも何をするのかクラスごとで案を出したりして、D組がだした10問クイズを大広間で行うことができました。僕は10問クイズの担当ではなくジェスチャーゲームの担当になりタイマーの係になりました。タイマー係は何をするのかというと1から6問ごとに制限時間があり、その制限時間をはかることが仕事でした。ミスをしてはいけない重圧がありましたが、時間内に終わることが多く意外とさっと終わりました。

実技班の人や同じ部屋の人と仲良くできてとてもいいスキー教室になったのが3つ目の思い出です。

<保護者の皆様へ>

本日、3月8日（土）に行われるひばり文化の日のパンフレット（保護者用）を配布しました。このパンフレットはひばり文化の日当日、学校にお越しいただく際にお持ちいただくようお願いいたします。詳しい日程はすぐーるで配信される保護者用通知をご覧ください。ひばり文化の日は文化行事委員の生徒によって運営が行われ、一年間の生徒の作品等をご覧くださいる機会です。是非お越しください。